

# 平成25年度事業報告書

自 平成25年4月1日

至 平成26年3月31日

公益財団法人 都民劇場

# I. 当法人の現況に関する事項

## 1. 法人の概況

### (1) 設立年月日

昭和30年4月15日

### (2) 定款に定める目的

この法人は、文化及び芸術の振興、古典演劇の保護、現代演劇の育成、児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業を行い、国内外の芸術芸能の発展向上に寄与することを目的とする。

### (3) 定款に定める事業内容

- ①国内外の優秀な芸術芸能の鑑賞会の実施
- ②国内外の優秀な芸術芸能公演の実施
- ③児童又は青少年を対象とする芸術芸能公演の実施
- ④国内外の演劇・音楽等芸術についての調査並びに情報、資料の収集提供と研究会の実施
- ⑤定期刊行物の発行
- ⑥その他前号に定める事業に関連する事業

### (4) 所管官庁に関する事項

東京都 生活文化局

### (5) 会員の状況

種 類	当 期 比	前期末比増減
定期鑑賞会会員	18,724人	814人

### (6) 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都中央区銀座五丁目1番7号数寄屋橋ビル内

## (7) 役員等に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理事 (理事長)	糟谷 治男	常 勤	前(公財)都民劇場事務局長
理事 (専務理事)	佐原 正秀	常 勤	元(財)都民劇場事務局長
理事	植木 浩	非常勤	(一社)現代舞踊協会会長 元文化庁長官
〃	小林 清	非常勤	東京都生活文化局長
〃	鈴木 勲	非常勤	(公社)日本弘道会会長 元文化庁長官
〃	西川太一郎	非常勤	東京都特別区長会会長 東京都荒川区長
〃	水落 潔	非常勤	桜美林大学名誉教授 毎日新聞名誉編集委員、演劇評論家
〃	邑上 守正	非常勤	東京都武蔵野市長
〃	矢田 美英	非常勤	東京都中央区長
〃	矢野 誠一	非常勤	演劇・演藝評論家 (公財)早川清文学振興財団理事
監 事	宇津木 修	非常勤	公認会計士
〃	山分 榮	非常勤	弁護士
評議員	浅里 公三	非常勤	音楽評論家
〃	津川 安男	非常勤	元プロデューサー
〃	西崎 清久	非常勤	(公財)日本オペラ振興会顧問 共立女子学園理事
〃	野口 敦弘	非常勤	能楽師
〃	藤田 洋	非常勤	演劇評論家 (公社)日本演劇協会専務理事
〃	丸山 徹	非常勤	慶應義塾大学教授
〃	諸石 幸生	非常勤	音楽評論家
〃	横溝 幸子	非常勤	演劇評論家

## II. 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

#### I. 文化・芸術振興事業

##### 1. 定期鑑賞会事業の開催

- (1) 演劇サークルは都内の主要劇場（帝国劇場、新橋演舞場、明治座、日生劇場、国立劇場、シアタークリエ、東急シアターオーブ）の57公演の中から、各回毎に指定された公演の中から、年に10公演の観劇をした。
- (2) 歌舞伎サークルは新開場した歌舞伎座の12公演の中から、各回毎に指定された公演の内、年に6公演の観劇をした。
- (3) 音楽サークルは年10回の演奏会を東京文化会館大ホールで実施した。
- (4) 新劇サークルは新国立劇場、東急シアターオーブ、銀河劇場、赤坂ATCシアター、紀伊國屋サザンシアター等42公演の中から、各回毎に指定された公演の中から、年に10公演の観劇をした。

##### 2. 都民劇場古典芸能鑑賞会の開催

###### (1) 第95回「都民劇場古典芸能鑑賞会」（主催公演）

「都民劇場能」

狂言「昆布売」（和泉流）シテ＝野村 萬

能「自然居士」（観世流）シテ＝観世鍬之丞 ワキ＝野口敦弘

大鼓＝亀井忠雄 小鼓＝亀井俊一 笛＝一噌庸二

日時 = 10月31日 (木) 午後6時始 会場 = 宝生能楽堂

入場料 7,500円~4,000円 入場者数 363人

(2) 第96回「都民劇場古典芸能鑑賞会」(主催公演)

「都民劇場能」

狂言「六地藏」(和泉流) シテ = 三宅右近

能「鉢木」(観世流) シテ = 梅若万三郎 ワキ = 野口敦弘

大鼓 = 安福建雄 小鼓 = 大倉源次郎 笛 = 一噌庸二

日時 = 平成26年2月27日 (木) 午後6時始 会場 = 宝生能楽堂

入場料 7,500円~4,000円 入場者数 319人

3. とみん特選小劇場の開催

(1) 第42回「国本武春(浪曲)・柳亭市馬(落語)二人会」(主催公演)

演目 = 国本武春「佐倉義民伝~甚平の渡し」

国本武春「曲師・沢村豊子インタビュー」

柳亭市馬「鰻の幫間」

柳亭市馬「高砂や」

柳亭市馬「昭和歌謡を歌う」

国本武春「紺屋高尾」

日時 = 平成25年8月14日 (水) 午後2時開演 会場 = 紀伊國屋ホール

入場料 4,000円~3,000円 入場者数 376人

(2) 第43回「松元ヒロ ソロ・ライブ」(主催公演)

演目 = オリピック招致ほか時事問題、映画「標的の村」を語りで表現する  
芸を披露

日時 = 平成26年1月7日 (火) 午後7時開演 会場 = 紀伊國屋ホール

入場料 3,300円~3,000円 入場者数 384人

4. 映画芸術劇場の開催

後援 = 中央区文化・国際交流振興協会、(公財) ポーラ伝統文化振興財団

(1) 第169回「映画芸術劇場」(主催公演)

短編映画「西出大三 一截金の美一」

長編映画「アーティスト」 監督 = ミシェル・アザナヴィシウス

日時 = 6月27日 (木) 午後6時30分開映

会場 = 銀座ブロッサム(中央区立中央会館)

入場無料(葉書での申し込み制) 入場者数 737人

(2) 第170回「映画芸術劇場」(主催公演)

短編映画「備前焼 伊勢崎淳の挑戦 一伝統と革新のはざままで一」

長編映画「アルゴ」 監督 = ベン・アフレック

日時 = 10月17日 (木) 午後6時30分開映

会場 = 銀座ブロッサム(中央区立中央会館)

入場無料(葉書での申し込み制) 入場者数 617人

(3) 第171回「映画芸術劇場」(主催公演)

短編映画「加賀象嵌 中川衛 美の世界 ―新たな伝統を創る―」  
長編映画「ミッドナイト・イン・パリ」 監督＝ウディ・アレン  
日時＝平成26年1月31日(金)午後6時30分開映  
会場＝銀座プロッサム(中央区立中央会館)  
入場無料(葉書での申し込み制) 入場者数 646人

5. 都民半額観劇会の開催

「都民半額観劇会」第137回から第140回まで、年4回開催  
主催＝東京都、(公財)東京都歴史文化財団、(公社)日本演劇興行協会、  
(公財)都民劇場の四者共催

第137回	参加劇場	9劇場	応募枚数	28,983枚	提供枚数	6,641枚
第138回	〃	9劇場	〃	29,929枚	〃	8,427枚
第139回	〃	11劇場	〃	41,052枚	〃	10,174枚
第140回	〃	8劇場	〃	17,260枚	〃	5,459枚
平成25年度合計			応募枚数	117,224枚	提供枚数	30,701枚
(第1回からの合計			〃	4,866,844枚	〃	997,875枚

観劇希望者は葉書で劇場名、日時、枚数(2枚まで)を明記の上、都民劇場内  
都民半額観劇会事務局へ申し込む。抽選の上、当選者に通知状及び振込用紙を  
送付し、代金入金確認後、入場券を郵送するシステム。当選者は正規入場料の  
半額の代金と所定の取扱い手数料を納める。

II. 青少年育成事業

1. 第243回「子供歌舞伎教室」の開催(主催事業)

共催＝東京都 協賛 松竹株式会社、(社)日本俳優協会

演目＝「供奴」中村萬太郎

「鷺娘」中村梅枝

「解説と見どころ」戸部和久(歌舞伎座監事室)

日時＝11月23日(祝・土)午前9時開演

会場＝歌舞伎座 学校動員 1,288人(30校) 親と子 353人 合計 1,641人

2. 「ニッセイ名作劇場」の開催(共催事業)

「ニッセイ名作劇場第50回―こどものためのミュージカル・プレイ」  
(ニッセイ名作劇場50周年記念公演)

主催＝(公財)ニッセイ文化振興財団 共催＝(公財)都民劇場

協賛＝日本生命保険相互会社 後援＝東京都

演目＝「はだかの王様」 構成・演出＝浅利慶太 出演＝劇団四季

開催期間 6月3日から7月11日まで 会場＝日生劇場

公演数 57回 招待校数 995校 招待児童数 74,518人

3. 「親と子の京劇鑑賞会」の開催（共催事業）

主催＝（公財）都民劇場 共催 特定非営利法人京劇中心、日本経済新聞社

演目＝「京劇のミカタ」講師＝加藤徹（明治大学教授）

「京劇三国志 趙雲と関羽」 出演＝中国国家京劇院

日時＝6月1日（土）午後2時50分 レクチャー開始 午後4時 開演

会場＝東京芸術劇場プレイハウス

入場者数 172人 入場無料

Ⅲ. 研究会事業

1. 「能楽鑑賞講座」の開催

講師＝野口敦弘（下掛宝生流ワキ方能楽師）年5回開催

① 10月10日（木）午後3時30分 参加者 14人

② 11月21日（木）午後3時30分 参加者 26人

③ 12月12日（木）午後3時30分 参加者 28人

④ 1月16日（木）午後3時30分 参加者 26人

⑤ 2月19日（木）午後3時30分 参加者 27人

入場者数合計 121人 会場＝都民劇場7階会議室

初心者のための能・狂言の解説、及び「都民劇場能」鑑賞の手引きとして公演の解説や、装束を鑑賞する会を計5回実施

2. 「四国こんぴら歌舞伎」観劇研究会の開催

演目＝昼の部「鳥辺山心中」「義経千本桜／川連法眼館」

夜の部「京人形」四代目市川猿之助襲名「口上」

「奥州安達原／袖萩祭文」

出演＝猿之助 愛之助 秀太郎 市川右近 ほか

Aコース 4月5日～7日

Bコース 4月18日～20日 参加者合計 61人

Ⅳ. 主要劇場の入場券の斡旋、研究調査および定期刊行物の発行

1. 定期鑑賞会会員以外の人達に入場券の斡旋等の販売を実施した。
2. 定期鑑賞会事業、特別公演事業の推進を図るため、アンケート調査を実施し、機関紙「都民劇場」5月号、第719号で公表した。
3. 定期鑑賞会会員向け機関紙「都民劇場」を第718号から第729号まで12回発行。定期鑑賞会音楽サークル会員用プログラム年10回発行。

## 2. 役員会等に関する事項（理事会、評議員会等）

### (1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成25年6月4日	1. 平成24年度事業報告及び附属明細書の承認	可 決
	2. 平成24年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認	可 決
	3. 平成24年度定期提出書類の承認	可 決
	4. 理事長の選定	可 決
	5. 専務理事の選定	可 決
	6. 事務局長の任免	可 決
	7. 企画委員委嘱及び辞任について	可 決
平成26年3月18日	1. 平成26年度事業計画書及び収支予算書の承認	可 決
	2. 平成26年度役員報酬の承認	可 決
	3. 任期満了に伴う、企画委員・企画委員長、及び特別事業運営委員・特別事業運営委員長の選任について	可 決

### (2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成25年6月25日	1. 平成24年度貸借対照表、損益計算書及び財産目録の承認	可 決

## 3. 直前3事業年度の財産及び損益の状況

区 分	平成25年度	平成24年度
経常利益	1,641,240,721	1,417,504,004
評価損益等調整前当期経常増減額	8,435,394	△ 12,441,348
当期経常増減額	19,933,394	2,838,652
当期財産期末残高	1,149,220,000	1,130,633,606



#### 4. 業務の適正を確保するための体制等

当法人では、公益財団法人への移行後の組織運営にあたり、以下の定款及び諸規程を整備し、これを役員及び従業員に説明したうえで、これに従った法人運営を行う。

1. 定款
2. 事務局規程
3. 委員会規程
4. 賛助会規程
5. 会員規程
6. 理事の職務権限規程
7. 役員等の報酬及び費用に関する規程
8. 常勤役員退職慰労金規程
9. 寄附金等取扱規程
10. 経理規程
11. 資金運用規程
12. 情報公開規程